

『私たちと森のこれから』

# 村上市森林組合

〒959-3905 村上市府屋 121-2  
 電話番号：0254-77-3121  
 Fax 番号：0254-77-2908  
 URL: <http://www.e-woods.com>

し上げますとともに、組合運営に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

能登半島の皆さまをはじめ、災害によって未だ不自由な生活を余儀なくされている方々が一日でも早く平穏な生活に戻れますようお願いできません。いつ・どこで起こるかかわからない自然災害。自分でできることの備えは何か、日々の暮らしの中で自然災害を意識していることが大事なことのようです。

さて、林業という生業は、「豊かな森林を次世代に引き継いでいく。」という重要な役割を担っています。

山北地域において、先人のたゆまぬ努力によって造林された見事なスギ林は、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の循環利用が確実に進められてきた証です。

しかし、林業が植林から伐採まで長期にわたることから、近年、投資に見合った収入を得ることが難しく、その結果、山林が適切に手入れされず、荒廃する事態になっています。

この間、所有者の世代交代が進み、山北地域外に居住する「不在村化」も増え、山林への関心の薄さにも拍車がかかることになり、組合員の中でも所有林の存在が遠ざかり、組合を脱退する方も増えつつあります。



## ご挨拶

代表理事組合長 齋藤 甲三

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も組合員の皆さまにとって幸多き年でありますようご祈念申し上げます。

「いつでしょう、今一度ご自分の所有林に目を向け、山の手入れをしませんか!」

「できるだけまとまった「施業の集約化」によって利用間伐などが実施できれば経済的にも有利ですし、少しでも還元が可能となります。組合では、昨年、大毎・北中地内の広域農道沿線の山林所有者の皆さまに呼びかけ、約百町歩余りの利用間伐に着手しました。また、近年、木材はバイオマス発電の燃料材としての需要や輸出など、供給側の選択肢が広がっています。より有利な販売に努めます。

木材加工部門では、この四月から大手商社と連携し、軟弱地盤補強用の基礎杭として「スギ木杭」の製造を本格的に担うことになりました。これまでの「木製型枠パネル」に加え、工場の二本柱として力を入れていきます。

今後とも組合員の皆さまのご期待に沿うよう役職員一同努めてまいりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 4月から、環境パイル(基礎杭)全国7番目の製造工場になります。

当組合工場では長年に渡り、丸棒加工（及び二次加工製品）を主力とし、主に公共工事、とりわけ大規模な災害復旧工事等で使用される土木資材を中心に製造販売してきました。

しかしながら近年、予算縮小や工法が多様化に伴い、安定受注が難しくなりつつあります。そこで、公共工事への依存体質から脱却すべく新たな需要開拓を模索していたところ、住宅地等の軟弱地盤補強用の基礎杭『環境パイル』について、大手の兼松サステック㈱と昨夏から協議を重ね、4月1日のAQ認証取得を目途に契約を締結する予定です。

能登半島地震の液状化現象で知られた通り、本県は地盤が軟弱で、環境パイルの使用量は全都道府県でトップです。現在、国内で6工場が稼働中であって、村上市森林組合ではその7番目の製造拠点工場になるべく準備を進めております。

### —環境パイル市場動向—

- ・『環境パイル』は、全国累計5万棟超 (R6.11月時点集計)
- ・県内需要は約2,000 m<sup>3</sup>/年 (4m材換算で約35,000本)

写真は、現在ストックヤードとして使用されている新潟市南区内の様子 (兼松サステック㈱提供)



### —防腐で付加価値向上—

当組合工場では、環境パイル製造の最終工程である防腐処理まで施し出荷する計画です。これにより製品の付加価値が高まり、販売価格を上乗せすることが出来ます。



借受中の移動式加圧注入試験機



今後は防腐処理をすると表面が緑色に変色します

(従前の AAC から LC-350 という防腐剤に変わります) 処理後の乾いた木材に手で触れても害はありません。

スギ丸太を輸出しました!

林野庁の資料によると、国産材原木（丸太）の輸出量は、令和 5（2023）年実績で 159 万 m<sup>3</sup>（この数字は、令和 5 年度の新潟県素材生産量約 24 万 m<sup>3</sup>の 6.6 倍）を超え、これは国産材素材需給量の約 6.7%を占めるまでになっています。丸太の輸出量は右肩上がり、過去最高を更新中であるとのことで、全国の港から出荷されています。

国内の主要な輸出元は九州地方で、100 万 m<sup>3</sup>を超える実績です。また、丸太の輸出先は中国向けが増加し全体の約 9 割を占めており、韓国、台湾の順となっています。

この背景には、中国の底堅い木材需要と、国内の森林資源の充実があると言われています。そして、中国に輸出された丸太は、現地で米国向けのフェンス、デッキ材などの建築材に加工され、再輸出されるということです。

このような状況からスギ丸太の輸出は、為替の動向次第ではありますが、少しでも安定した売り先確保のための選択肢と考えます。

国内外の木材需要の動向は常に注視していますが、品質に見合った販路で売ることが不可欠であり、安定した丸太の供給体制は地域林業の振興に欠かせません。

—スギ丸太の輸出状況—

	数量 (m <sup>3</sup> )	材質	取扱業者
新潟西港	185.494	B・C材	新潟県森連
岩船港	215.060	B・C材	(株)旭林業
計	400.554 (1441 石)		

当組合では、昨年初めてスギ丸太を輸出しました。数量等は、左表のとおり(R7.1.31 現在)です。新潟西港及び岩船港に搬入し、運搬費を除き、販売額は約 312 万円でした。岩船港は、山北から近距離のため輸送コストの圧縮が図られることから、継続かつ安定した集荷が望まれます。

- 【理事会報告】 令和六年四月二十三日
    - ◎議決事項◎
      - 一 コンプライアンス態勢運営要領の一部改正について
      - 二 施設更新積立金の一部取崩について
      - 三 固定資産の処分について
  - 【理事会報告】 令和六年五月二十日
    - ◎議決事項◎
      - 一 各理事の報酬額、支給時期、支給方法について
  - 【理事会報告】 令和六年七月二十六日
    - ◎議決事項◎
      - 一 就業規則の一部改正について
      - 二 前期末手当の支給について
      - 三 製材加工棟の屋根改修について
  - 【理事会報告】 令和六年十月二十五日
    - ◎議決事項◎
      - 一 後期末手当の支給について
      - 二 定款及び附属規程の一部改正について
      - 三 新潟県業務及び会計状況検査指示事項に対する検討結果の承認について
- 今後の理事会予定 令和七年二月上旬

広域農道沿線の山林を間伐しています!

山北地域は豊富な森林資源を有しています。

人工林率の高い地域ですが、手入れが行き届かない山林も多く見受けられます。そんな中で少しでも手を加えたらよいのではと思い、昨年の春、岩船北部広域農道（北中～高根線）沿いの北中宇山田沢地内から大毎字カタガリ地内までに山林を所有する市内外の皆さんに間伐の実施を呼びかけました。

その結果、所有者 98 名、面積で 107 町歩（ちょうぶ）余りの同意をいただき、昨年 6 月、大毎字菖蒲田地内から順次作業に入り、これまで約 18 町歩を終えました。間伐の形態は「利用間伐」といい、対象となる木はスギで、伐る割合（伐採率）は、全体の 30～40%程度を見込んでいます。そして、伐ったスギは、山から搬出して販売します。加えて、この間伐に対する国県市からの補助金を受けます。



これらの収入から、伐採・搬出等に要した経費と組合手数料を差し引いた額を所有者に還元します。どのくらいの金額を還元できるかは、山林の状態や伐ったスギの形状、質、量などにより大きく違います。さまざまなケースがあって、どうしても山林ごとに大きな差が生じますので、この点をご理解をお願いします。

スギなどの木は育っていくと太くなり、背も高くなって森は混みあってきます。曲がって伸びて、隣の邪魔をする木も出てきます。

そのまま放っておくと、太陽の光や空気が中まで届かなくなり、森全体に元気がなくなってしまいます。そこで、混みあった木を伐って光や空気が通るようにします。

これが「間伐」です。木の成長を促すための重要な作業です。

森林は、光合成によって二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を吸収し酸素 (O<sub>2</sub>) を排出します。手入れをすることによって地球にやさしい環境を生み出します。こうして、森の健康を守ることによって、私たちは森林資源を長く使い続けていけるのです。

7年度森林整備施業申込をお願いします!

令和 7 年度の施業（雪起こし、造林、下刈、除伐、枝打ち、間伐等）の申込みをお願いします。申込面積は、0.1ha（1 反歩）からで、それぞれ作業の負担金の額と申込用紙は、別途お知らせのとおりです。多数申込みください。

